

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	23 環境問題への取り組み強化

★目指す姿

みんなが環境について自ら考え、環境に配慮した生活・活動を実践している。



■施策の主な取り組み

① ごみ減量と資源化の推進

市民・事業者・行政の協働のもと、ごみの発生抑制、新たな資源化を推進し、環境への負荷を減らします。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	ごみ減量及び資源化推進事業	ごみの発生・排出抑制のための各種事業(電動式生ごみ処理機の購入補助、集団資源回収奨励、マイバッグ運動など)や分別・収集に係るルールの見直し、リユースイベント等を実施します。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
1人当たりの1日のごみ排出量	g	家庭系ごみ総量／365日／人口	675	533	533	533
ごみの資源化率	%	資源化量／家庭系ごみ総量	14.5	23	23	23

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
630	582	—	=	—	—	市民環境部 廃棄物対策課
12.9	17.9	—	=	—	—	市民環境部 廃棄物対策課

② 環境保全対策の推進

市民の環境に対する意識向上を促し、市内の環境保全を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	不法投棄防止啓発事業	不法投棄の温床になりやすい現場に対し監視カメラの設置、パトロール、啓発看板等で対策するとともに、定期的に不法投棄物を撤去します。	●
②-2	生活環境保全事業	環境に関する情報発信、あき地所有者への雑草除去通知、環境調査、公害苦情対応等を実施します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
不法投棄相談件数	件	相談件数	25	23	21	19
公害苦情相談件数	件	相談件数	45	38	31	24

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
14	24	14	22	300.0%	150.0%	市民環境部 廃棄物対策課
37	35	10	20	250.0%	357.1%	市民環境部 環境対策課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	ごみ減量及び資源化推進事業	【実績】 PTA等の各種団体への奨励金、生ゴミ処理機への補助金は、実施済。 「ええもんクルツと市」については、ふれあいフェスタで開催済。 【課題】 「ええもんクルツと市」について、令和5年度機構改革により課の執務場所が収集センターとなり、平時に実施していた本庁舎での開催が困難な状況である。 代替えとなる事業を検討する必要がある。	A	69 75 72	現状維持 現状維持	集団資源ごみ回収及び生ゴミ処理機補助金については、良好な状態にあるが、食器をリユースする「ええもんクルツと市」については、機構改革により課が収集センターに移転しほぼできていない状態にある。 今後において、「ええもんクルツと市」の実施については検討が必要であるが全体的には良好な状態であるので現状維持とした。	市民環境部 廃棄物対策課
②-1	不法投棄防止啓発事業	【実績】 不法投棄監視重点箇所のパトロール月2回実施済。 市内公共施設への不法投棄については、担当所管課と連携し対応、民間地への不法投棄については、対応の仕方等を指導した。 不法投棄抑制の啓発看板を多発箇所に設置。 【課題】 不法投棄を抑制するため、広報活動及び監視パトロールを実施する。 不法投棄を抑制するため、通報があれば必要に応じて不法投棄物を撤去する。 不法投棄を抑制するため、監視カメラの保守点検等の管理を行う。	A	87 85 90	現状維持 現状維持	重点パトロール地区については、不法投棄は現段階でなし。 市内の14カ所で公共施設(道路・公園)での不法投棄が発生したが公園道路管理課と連携をとり速やかに対応できている。	市民環境部 廃棄物対策課
②-2	生活環境保全事業	【実績】 ・環境に関する情報については広報誌による周知に加え、市HPの改善により問題に触れてもらう機会を増加した。 【課題】 ・あき地の管理や野焼きについて、土地の所有者から周囲への配慮が不足している状況になっている場合もあり、広報の方向性には検討が必要である。また、野焼きについては今後も農林課との協力が必要である。	A	90 90 90	現状維持 現状維持	生活環境保全は、市民生活に密接に関わる部分であるため、引き続き必要な事業である。この事業を推進することは、上位施策である「環境問題への取り組み強化」の目標達成にも寄与するものであり、今年度行っている各事業に関しても、以下のとおりとなっているため、現状を維持していく。 ・環境に関する広報等の情報発信は、環境基本計画上の主な取組にも挙げており、季節に合わせた話題で広報テーマ(夏は臭いや雑草・秋からは野焼き等)を決めて掲載をしており、そういった内容に関する問い合わせは多数いただいていることから、継続していくべきと考える。 ・公害苦情やあき地の雑草に関する苦情については、随時受け付けており、対応として、関係者への声掛けや広報啓発等を行い、市民生活の質向上に貢献していく。	市民環境部 環境対策課



■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	市民がごみの分別・ごみ減量等及び不法投棄について理解し行動できるよう啓発し、広報紙やホームページで情報発信していく。 ・市民が環境問題について自発的に行動していけるよう、引き続き広報やHPにて情報を発信していく。
---------	---

担当課評価	
A	3 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0 事業	拡大	0 事業
現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	24 自然環境・景観の保全

☆目指す姿

街路や公園、河川などが綺麗に保たれていて、一人ひとりがその状態を維持しようと努めている。



■施策の主な取り組み

① 美しい自然環境・景観の保全

まちを形成する道路や公園、河川および森林の適切な管理により、美しい自然環境・住環境の保全を図ります。また、美しいまち並み景観の形成および屋外広告物の適正な管理を図るとともに、地域を主体とした景観形成の仕組みづくりを推進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①ー1	街路美化推進事業	まちを形成する道路等について、定期的な草刈り、剪定などの美化作業を行います。また、地域の美化活動を促進します。	●
①ー2	都市公園維持管理補修事業	誰もが安全、快適に利用できる公園環境のための適切な維持管理を行います。	●
①ー3	河川維持管理事業	河川・水路の定期的な点検・美化清掃・維持補修を行うとともに、土砂上げなど適切な維持管理により、河川の氾濫を抑制します。	●
①ー4	屋外広告物規制事業	良好な景観・風致を維持するために、広告物掲出時の指導・啓発を行うとともに、違反広告物の除却作業を行い、その削減に努めます。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
森林・街路・公園維持管理面積	ha	維持管理体制の整っている森林面積、街路植樹面積、公園面積の総数(累計)	44	44	77	130

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
45	45	45	45	100.0%	102.3%	都市創造部 公園道路管理課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性				担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入			
①ー1	街路美化推進事業	【実績】 ・市内の街路において、定期的な草刈・剪定を実施 【課題】 ・定期的な剪定等を実施できていない箇所の実施	A	95	拡充	定期的に草刈り、剪定を実施しているが、草木の生育に対して、剪定が追い付いていない箇所に加え、新規の要剪定箇所も発生しており、剪定回数や箇所を増やして実施する。	都市創造部 公園道路管理課		
・定期的な街路樹の剪定を実施する。	95			拡大					
	90								
①ー2	都市公園維持管理補修事業	【実績】 ・市内の都市公園において、定期的な草刈・剪定 ・公園遊具の日常点検を実施して、適宜、補修を実施 【課題】 ・生育しすぎた樹木の強剪定や伐採 ・専門家による遊具の定期点検及び遊具の修繕・更新工事の実施	A	95	拡充	定期的に草刈り、剪定を実施しているが、草木の生育に対して、剪定が追い付いていない箇所に加え、新規の要剪定箇所も発生しており、剪定回数や箇所を増やして実施する。	都市創造部 公園道路管理課		
・定期的な都市公園内における樹木の剪定を実施する。 ・定期的な公園内における遊具の点検を実施し、危険度の高い箇所から改修を実施する。	95			拡大					
	90								
①ー3	河川維持管理事業	【実績】 ・市管理河川・水路の草刈・土砂撤去 ・調整池土砂撤去工事 5箇所 【課題】 ・継続的な河川土砂撤去の実施 ・土砂撤去が未実施な調整池の早急な実施	A	95	拡充	定期的に土砂撤去やしゅんせつを実施はしているが、堆積が早いため、今後は回数を増やして実施する。	都市創造部 公園道路管理課		
・河川や水路の土砂撤去や草刈り等を実施する。	95			拡大					
	90								
①ー4	屋外広告物規制事業	【実績】 ・屋外広告物の新規、継続、撤去等許可事務を適正に進めた。 ・中和幹線沿道における屋外広告物適正化について、奈良県と協働で広告主に 対し行政指導実施(1件) ・違反広告物簡易除却活動を令和5年9月・令和6年2月に実施 【課題】 ・奈良県と協働し、中和幹線の良好な景観形成に取り組む。 ・屋外広告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発を継続する。	A	67	現状維持	【成果の方向性】 ・引き続き、屋外広告物の許可事務を適正に行う。 ・これまで行ってきた違反広告物の簡易除却活動により、違反広告物は減少しているが、良好な景観形成及び公衆に対する危害の防止の観点から、違反広告物のさらなる減少にむけ、今後も関係機関との協力体制は継続する。 【コストの方向性】 ・引き続き事業を実施していくため、コストは前年度と同程度とする。	都市創造部 都市計画課		
・屋外広告物の新規、継続、撤去等許可事務 ・中和幹線の良好な景観形成に努める ・違反広告物の簡易除却活動 ・屋外広告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発	75			現状維持					
	72								



■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・街路や公園において定期的な草刈り ・剪定の未実施箇所における実施 ・今年度に引き続き公園遊具の専門家による詳細な定期点検の実施 ・公園遊具の修繕や更新工事の実施 ・調整池や市管理河川の土砂撤去未実施箇所における早急な実施・市内の良好な景観形成及び公衆に対する危害の防止の観点から、屋外広告物の許可事務を適正に進めるとともに、違反広告物のさらなる減少にむけ、今後も関係機関との協力体制を継続する。
---------	--

担当課評価	
A	4 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	3 事業	拡大	3 事業
現状維持	1 事業	現状維持	1 事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	25 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成

★目指す姿

良好な市街地が形成され、誰もが安心して自由に快適に移動できている。



■施策の主な取り組み

① 良好な市街地の形成

社会情勢の変化にともなう新たな課題や住民のニーズに対応するため、まちづくりに関する計画の策定や見直しを進めるとともに、管理不全な空き家等の発生抑制など、適正な土地利用を推進します。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
空き家率	%	空き家数／住宅総数	8.2	8.2	8.2	8.2

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①ー1	空家等対策関係事業	空き家管理の重要性を周知するため、所有者等への情報提供を行うとともに、問題のある空き家等の把握に努め、所有者等による適正な管理や活用を促進します。	●

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
—	—	—	—	—	—	都市創造部 都市計画課

② 持続可能な地域公共交通の確立

地域公共交通を維持していくために、モビリティマネジメントや交通弱者の外出支援など実施し、持続可能な地域公共交通の利用促進に取り組むことで、誰もが移動しやすい快適な暮らしの提供に努めます。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
コミュニティバス利用者数	人	コミュニティバスの利用者数	58,660	65,000	65,000	65,000
デマンド交通利用者数	人	デマンド交通の利用者数	43,478	47,000	47,000	47,000
JR西日本の利用者数	千人	JR西日本市内3駅の利用者数(奈良県統計年鑑発表年度の数値であり、利用実績値としては各2年前のデータ)	1,576	1,576	1,576	1,576
近畿日本鉄道の利用者数	千人	近畿日本鉄道市内5駅の利用者数(奈良県統計年鑑発表年度の数値であり、利用実績値としては各2年前のデータ)	8,913	8,913	8,913	8,913
奈良交通の利用者数	千人	奈良交通市内バス4路線の利用者数	1,679	1,679	1,679	1,679
タクシー(西大和交通圏)の利用者数	千人	西大和交通圏全体のタクシーの利用者数	865	865	865	865

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②ー1	地域公共交通事業	民間の公共交通機関との連携を図りながら、地域公共交通(コミュニティバス、デマンド交通)を運営します。また、モビリティマネジメントなど実施し、地域公共交通の利用促進に取り組みます。	●

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
41,887	45,500	22,460	45,241	99.4%	69.6%	生活安全部 生活安全課
44,658	47,000	23,767	47,770	101.6%	101.6%	生活安全部 生活安全課
1,290	1,355	—	—	—	—	生活安全部 生活安全課
6,904	7,587	—	—	—	—	生活安全部 生活安全課
1,680	1,661	—	—	—	—	生活安全部 生活安全課
—	692	—	—	—	—	生活安全部 生活安全課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
				必要性 有効性 効率性	成果の方向性 コストの方向性		
①ー1	空家等対策関係事業	【実績】 ・空き家利活用に係る補助事業:1件 ・納税通知書の送付機会を活用した空き家の適正管理に関する啓発を行なつた。 ・令和5年4月15日(土)に「空き家セミナー＆個別相談会」開催(1名参加) 【課題】 ・空き家に係る土地及び建物所有者等への、適正管理に関する情報提供及び周知並びに除却等に係る経費の補助 ・令和5年12月に空家法が改正されたため、改正内容を踏まえた対策の検討が必要	A	87	拡充	【成果の方向性】 ・空き家等の除却、利活用に対する補助制度を引き続き実施し、安心・安全の確保につなげるとともに、地域活性化への活用を図る。 ・広報紙等により、建物所有者等に対し適正な管理について周知を図り、管理不全の空き家が解消されるよう働きかける。 ・空家法改正に伴う香芝市空家等対策計画の改訂を行なう。 【コストの方向性】 ・計画の見直しに係るコストが拡大。その他事業実施に必要なコストは前年度と同程度(事業には国庫補助金を活用)。	都市創造部 都市計画課
				85	拡大		
				82			
②ー1	地域公共交通事業	【実績】 ・コミュニティバス車両について、老朽化したマイクロバス2台に替えて、マイクロバスおよびワゴン車両1台ずつに更新した(R6.3予定)。 ・新たに導入するバス車両について、ラッピングデザイン案を市立中学校美術部に作成を依頼し、デザイン案を受領した。 ・デマンド交通のインターネット予約について、令和5年7月より導入した。 ・月1回以上、運行事業者との協議を実施した。 ・香芝市地域公共交通活性化協議会を5月および3月(予定)に書面開催し、1月に対面にて開催した。 ・昨年度から継続審議となっていた停留所・便の廃止基準(案)について、1月開催の香芝市地域公共交通活性化協議会において承認を受けた。 ・今年度においては出前講座の実績が無いが、上記廃止基準の周知と併せて、令和6年度第1四半期における広報準備を実施した。(予定) 【課題】 ・コミュニティバスの利用者数はリニエアル以降増加傾向であったが、秋以降は前月比維持傾向にある。 ・デマンド交通の利用状況が大幅多く、希望の時間が取れない意見も寄せられた。	A	85	現状維持	・市民の日常の足として生活の充実に寄与していることから、引き続きコミュニティバスおよびデマンド交通の運行を継続していく。	生活安全部 生活安全課
				72			
				77	現状維持		



■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・管理不全の空き家所有者に対し、貴務の周知及び管理サービスや市場流通の促進を図るための情報提供を継続すると共に、安心・安全の確保につなげ、地域活性化への活用を図ることを目的に、空き家の除却及び利活用に要する経費の一部補助事業を実施する。 ・空家法改正に伴う香芝市空家等対策計画の改訂を行なう。 ・コミュニティバスの停留所・ルート(便)廃止基準を令和6年度に周知するため、わかりやすい情報公開・データ分析や運行利用促進に努める。 ・民間公共交通の利用者について、コロナ禍からある程度戻ってはいるが、運転士不足等、公共交通事業者の状況は依然として厳しく、地域公共交通を維持、確保するために、事業者と連携し、モビリティマネジメント等を通じて利用促進を図る必要がある。
---------	---

担当課評価	
A	2 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	1 事業	拡大	1 事業
現状維持	1 事業	現状維持	1 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実

★ 目指す姿

バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。

SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 公園整備の推進

身近な場所において、余暇を楽しむ機会を増やすため、安全・快適に利用できる公園の整備を図ります。また、多くの人が集い、活動できるスポーツ公園、総合公園の整備を進め、地域の賑わいの場とします。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
住民1人当たりの都市公園の敷地面積	m	都市公園面積／人口	5.1	5.5	6.8	7.9

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	香芝市スポーツ公園整備事業	恵まれた自然環境の中で、市民の誰もが安全で自由に遊び、多様なスポーツが行える公園を計画的に整備します。	●
①-2	街区公園・親水緑地整備事業	市内全域の配置を踏まえ、ため池を利用した親水公園など事業地の確保を検討し、公園・緑地の整備を図ります。	●
①-3	香芝総合公園整備事業	周辺環境との一体的整備を基本とし、全体的な整備内容等の見直しを図ったうえで、計画的に事業を推進します。	●

② バリアフリー化の推進

バリアフリー基本構想に基づき、高齢者や障がい者をはじめ、すべての人にやさしいまちづくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
重点整備地区内のバリアフリー特定事業完了率	%	特定事業(バリアフリー化工事等)が完了した事業数／特定事業の全事業数	32.9	54.4	73.8	100

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	バリアフリー推進事業	香芝市バリアフリー基本構想に基づき、特定事業の進捗を管理し、バリアフリー化を推進するとともに、バリアフリー教室の開催などにより「心のバリアフリー」を推進します。	●
②-2	歩道等バリアフリー化事業	段差の解消や視覚障がい者用誘導ブロック・スロープ等の設置により、歩道等のバリアフリー化を推進します。	●
②-3	既存道路バリアフリー化事業	香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区内の道路について、用地取得をともなう歩道の設置や道路構造の改良を行うことで、歩行空間の確保を目指します。	●

③ 地域拠点としての駅周辺整備

駅利用者の利便性の向上および安全性の確保を促進します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
駅周辺整備率(踏切・暫定広場整備を含む)	%	整備した箇所数(累計)／整備対象箇所数	68	72	72	76

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	駅周辺整備事業	鉄道事業者をはじめとする権利者および関係機関と協議し、合意形成に至った箇所について整備します。	●

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
				必要性	成果の方向性			
				有効性 効率性	コストの方向性			
①-1	香芝市スポーツ公園整備事業	【実績】 ・香芝市スポーツ公園プール区域の法面工事を実施 ・スポーツ公園(畑分川線より東側部分)の造成工事を実施 ・プール施設建築工事、及び設計監理業務について入札を実施(令和6年3月議会にて契約議案を上程予定) 【課題】 ・令和5～7年度にかけてプール施設建設工事を行う予定だが、事業の主要な財源となる国交付金の確保が課題となる	A	72 62 87	現状維持 現状維持	・一塊の事業用地が確保できた箇所から、段階的整備による事業効果の早期発現に向け工事に着手する。 ・事業用地の取得がボトルネックとなっているため、引き続き交渉を行う。	都市創造部 土木課	
①-2	街区公園・親水緑地整備事業	【実績】 ・今年度は事業実施箇所なし 【課題】 ・今後の事業実施に向けて関係機関(自治会等)と協議を進めていく	A	75 95 87	現状維持 現状維持	・市内全域の公園・緑地の配置や地元要望等を踏まえた中で、新たな街区公園や親水緑地の整備箇所の検討を行う。 ・次年度は設計・工事事業がないため、事業計画額としては縮小だが、将来の整備に向け国庫補助金を最大限に活用できるよう事業を進める。	都市創造部 土木課	
①-3	香芝総合公園整備事業	【実績】 ・総合公園事業用地に係る地権者との取得に関する協議実施 ・総合公園内園路の除草、樹木剪定、側溝清掃等の実施 【課題】 ・総合公園事業用地の取得が概ね完了したため、整備に向けた基本構想の検討が必要。 ・総合公園内園路等の維持管理を継続する。	A	82 85 82	拡充 拡大	【成果の方向性】 ・事業用地の取得が概ね完了することから、事業化に向けて、整備基本構想の策定や実現に向けた方策を記した基本計画の策定を進める。あわせて、計画区域の見直しを含む都市計画変更手続きに向けて関係機関との協議を進めていく。 ・総合公園内園路の除草、樹木剪定、側溝清掃等は引き続き実施する。 【コストの方向性】 ・総合公園の整備に向け、基本計画策定等にかかるコストが拡大。	都市創造部 都市計画課	
②-1	バリアフリー推進事業	【実績】 ・令和5年10月31日(火)にバリアフリー教室を開屋小学校で開催。ボランティアアフェスティバルにてパネル展示を実施。 ・JR香芝駅のバリアフリー化事業への補助事業(翌年度繰越実施)、近鉄五位堂駅のバリアフリー化設備への補助事業(年度内完了)を実施。 【課題】 ・JR香芝駅/バリアフリー化事業と共に市事業としてのJR香芝駅前公衆トイレ整備事業を計画的に進める。	A	90 90 95	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・JR香芝駅/バリアフリー化事業については、予定通り実施されるよう、事業進捗をJRに適宜確認する。また必要に応じて関係機関と協議を行うとともに、住民に対し当該事業の広報・周知を行う。事業完了後は、速やかな報告書の提出を求めるとともに、補助金を交付、補助金の交付決定については、国・奈良県と協調して実施する。 ・目標達成に向け、バリアフリー基本構想に位置づけた事業の進捗管理を行なう。 【コストの方向性】 ・引き続き事業を継続していくため、コストは現状維持とする。	都市創造部 都市計画課	
②-2	歩道等バリアフリー化事業	【実績】 ・今年度は400mのバリアフリー化の実施 【課題】 ・歩道/バリアフリー化未施工箇所の計画的な実施	A	80 95 95	現状維持 現状維持	今後も引き続き、香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区に位置づけられた歩道のバリアフリー化の促進を図る。	都市創造部 公園道路管理課	
②-3	既存道路バリアフリー化事業	【実績】 ・国交付金の内示査定により事業未実施 【課題】 ・引き続き事業費の確保、用地取得に努める	A	95 55 95	現状維持 現状維持	・今年度は補助金の配分状況により実施できなかったが、次年度は用地取得を行う。 ・高齢者や障がい者の視点に立ったきめ細かい事業計画により、切れ目なく事業を実施し、コスト増大を防ぐ。	都市創造部 土木課	
③-1	駅周辺整備事業	【実績】 ・開屋第4号、第5号路切(近鉄大阪線二上駅西側)について調査検討を実施 【課題】 ・路切整備方針について鉄道事業者(近鉄)と協議を進める	A	95 87 87	現状維持 現状維持	・未整備地区について、地元自治会や鉄道事業者との協議を踏まえ、整備方針等を検討していく。 ・調査検討及び協議の結果、整備方針が固まった場合は、国庫補助金等を活用しながら、交通空間としての機能性を最大限向上できるよう事業を進める。	都市創造部 土木課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・段階的整備による事業効果の早期発現に向け工事に着手する。 ・引き続き国庫補助金を最大限に活用できるよう事業を進める。 ・総合公園整備事業については、基本構想の策定に着手する。 ・バリアフリー推進事業は、目標達成に向け、関係事業者との調整を行ないながら進捗管理に努める。 ・引き続き総合体育館前及び近鉄五位堂駅周辺の歩道のバリアフリー化(歩行空間の確保・視覚障がい者誘導用標示の設置)の実施
---------	---

担当課評価	
A	7 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	1 事業	拡大	1 事業
現状維持	6 事業	現状維持	6 事業
縮小	事業	縮小	事業
休止止	事業	休止止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	27 道路整備の充実

☆目指す姿

交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。



■施策の主な取り組み

① 幹線道路の整備

幹線道路のネットワーク強化を図るため、計画的に整備を進めます。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
都市計画道路供用済延長	km	これまでに供用を開始した都市計画道路延長(累計)	27.3	27.7	28.6	30.1

② 生活道路等の安全性の確保

安全性や緊急性による優先度を踏まえ、生活道路等の適切な管理・整備を進めます。
--

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市道の新設・改良箇所数	箇所	市道において、新設・改良工事を実施した箇所数(令和2年度からの累計)	0	4	8	12

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	主要幹線道路整備事業	都市計画道路の整備を段階的に進めます。	●

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	道路維持管理補修事業	道路の路面状況等を把握するため、定期的なパトロールを行うとともに、市民から寄せられた情報などをもとに補修を行います。	●
②-2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業	「香芝市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、道路橋の安全性・耐用年数の向上を図るため、修繕工事を実施します。	●
②-3	道路新設改良事業	道路の新設・拡幅整備を推進し、特に拡幅整備においては、部分的な待避所の設置や隅切りなど、状況に応じた整備を図ります。	●

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
今年度の事業実施計画	①-1			主要幹線道路整備事業	【実績】 ・畑分川線(1工区)の下部工(P1橋脚、A1橋台)、及び交差点改良工事実施 ・尼寺関屋線及び畑分川線(スポーツ公園関連)の法面工事実施 【課題】 ・令和6～7年度にかけて畑分川線(1工区)の上部工(橋梁)に着手予定だが、事業の主要な財源となる国交付金の確保が課題となる ・尼寺関屋線及び畑分川線は、関連事業(スポーツ公園)の進捗に合わせて整備する必要がある		A	100
		69	現状維持					
②-1	道路維持管理補修事業	【実績】 ・香芝市舗装長寿命化計画における分類B,C路線L=1.55kmの修繕工事を実施 【課題】 ・分類B,C路線において地下埋設占有業者の新設改築工事計画を綿密に協議し、修繕工事完了後における短期間、短区間の掘り返し発生の防止	A	95	現状維持	・香芝市舗装長寿命化計画における、分類B,Cである都市計画道路については、劣化度が高い路線の改築を実施して長寿命化を引き続き図る。 また、分類Dである生活道路においては、劣化度に加え、地元要望も加味して、長寿命化を図る。		
				85	現状維持			
②-2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業	【実績】 ・2橋の修繕工事を実施 ・61橋の橋梁定期点検及び2橋の横断歩道橋定期点検を実施 【課題】 ・集約化が可能な橋梁を抽出するとともに、定期点検箇所数を削減するため、集約化に向けた検討の実施	A	90	現状維持	今後も引き続き、橋梁、大型カルバート及び歩道橋において5年に1度の定期点検を実施するとともに、点検結果を基に要対策となった橋梁の修繕を実施する。		
				95	現状維持			
②-3	道路新設改良事業	【実績】 ・狐井(市道10-105号線)、畑(市道4-63号線)及び五位堂(市道10-52号線)について拡幅・整備工事実施 ・狐井(市道10-49号線)について交差点東側の用地(4件)取得完了、取得用地のうち交差点西側及び児童公園前の拡幅工事実施 【課題】 ・引き続き事業のスピードアップ、コストダウンに努める ・狐井(市道10-49号線)拡幅事業については、残る4件の支障物件について補償調査実施予定	A	100	現状維持	・複数の事業箇所における測量や設計を一体的に実施するなど、進捗管理を強化・徹底することにより、事業のスピードアップを図る。 ・市の財政負担を最小にするような事業手法等を検討し、国庫補助金も活用しながら、総合的なコストを考慮した中で事業を進める。		
				74	現状維持			
				95	現状維持			



■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・引き続き事業のスピードアップ、コストダウンに努める。 ・関連事業の進捗状況を見ながら調整して事業を進める。 ・道路維持管理については、継続して香芝市舗装長寿命化計画における分類B,C路線について、維持工事を実施する。 ・橋梁点検に関しては、5年サイクルで橋梁212橋・大型カルバート1箇所・横断歩道橋2橋の点検を行っていくとともに集約を検討し、管理橋の縮減を図る。また、健全判定がⅢの橋梁1橋の修繕工事を実施する。
---------	---

担当課評価	
A	4 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	4 事業	現状維持	4 事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	28 上水道の基盤強化

☆ 目指す姿

「快適な水道サービスと安定した水道事業を目指して」という基本理念の実現に向けて、安心・安全・強靱な水道事業の運営が行われている。



■ 施策の主な取り組み

① 安心・安全・安定した水道の供給

管路の耐震化および施設の適切な維持管理により、安心・安全な水道水の安定供給に努めます。また、応急給水用品の整備や飲料水貯水槽施設の設置などにより、災害時の持続可能な供給体制の充実を図ります。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
基幹管路の耐震化率	%	基幹管路(口径300mm以上の配水管)の耐震管の累計総延長/基幹管路総延長	11.9	28.6	45.3	62.1

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
14.6	14.6	14.6	14.6	100.0%	51.0%	上下水道部 工務課

② 健全な水道事業の運営

適正な水道料金を維持し、適切なサービスを継続して提供できるよう、健全な水道事業運営に努め、今後県域水道一体化の検討も含め、経営基盤の強化を図ります。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
経常収支比率	%	経常収益/経常費用	113.8	100以上	100以上	100以上

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
101.0	100以上	-	103.2	103.2%	103.2%	上下水道部 業務課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
必要性	成果の方向性						
有効性	コストの方向性						
効率性							
①ー1	水道施設更新事業	【実績】 ・配水管の更新事業(12事業) ・工事で鉛製給水管を40戸更新。 【課題】 ・令和5年度においては、随伴工事の中止及び付近の工事を集約させたことにより工事件数が減少したが、今後耐用年数の到来する配水管の増加が見込まれる為、より一層効率的な更新工事に取り組む必要がある。	A	90	現状維持	【成果の方向性】 アセットマネジメントの更新計画に基づき、継続的に更新工事を実施する。 【コストの方向性】 施設改良事業を可能な限り集約する等、効率化を行い、工事費の削減に努める。	上下水道部 工務課
・配水管の更新事業(15件) ・鉛製給水管取替の実施(39戸)				75	現状維持		
				75			
②ー1	水道事業の経営健全化事業	【実績】 ・ワーキンググループや作業部会に積極的に参加し、県域水道一体化に向けて議論を進めることができた。 ・令和6年度中に終了する長期継続契約中の業務(検針及び開閉栓等業務委託)の新契約について、更なる業務効率の向上のため、業務仕様及び委託範囲の検討を行った。 【課題】 ・本格化する県域水道一体化に係る事務と並行して、引き続き業務フローの効率化等に努めながら、住民サービスを低下させないように限られた人員で業務運営する必要がある。	A	90	現状維持	【成果の方向性】 令和7年度の県域水道一体化事業統合に向けて、引き続き細部の検討と協議を進める。 【コストの方向性】 県域水道一体化を見据えつつ、費用対効果や業務の必要性を鑑みた上で、引き続き業務委託の適正化や仕様の調整を行う。	上下水道部 業務課
・県域水道一体化に向けて、関係機関と共に諸調整を行う。 ・業務委託の更なる適正化に向けて、業務仕様の検討などを行う。				80	現状維持		
				80			



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・関係機関と工事範囲や工程の調整を行い、工事を集約する等で経費を削減し、無駄なく工事を履行させる。 ・業務の適正化や事務の効率化に取り組み、効率的な事業運営に努めるとともに、令和7年度の県域水道一体化に向けて協議・検討を重ね、より詳細な運営方法等についても決定していく必要がある。
---------	---

担当課評価	
A	2 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	29 下水道の整備

☆目指す姿

下水道が安定的に機能し、誰もが衛生的に暮らすことができる。



■施策の主な取り組み

① 下水道の整備・更新

管渠整備を促進し、普及率の向上を図るとともに、管路施設老朽化の防止に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①ー1	公共下水道管渠整備事業	幹線管渠の整備を進めるとともに面的整備を進め、供用開始区域の拡大と普及率の向上を図ります。また、管路施設の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、施設の更新を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
下水道の人口普及率	%	下水道処理人口(下水道を利用できる人数)／住基人口	73.2	80.4	87.7	95

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
77.7	80.0	77.8	78.0	97.5%	97.0%	上下水道部 下水道課

② 水洗化の促進

公共下水道への未接続世帯に対し、下水道への接続を促すことにより、水洗化の普及促進および水洗化率の向上に努めます。
--

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②ー1	水洗化促進事業	供用開始区域において、下水道の未接続世帯に対し個別訪問し、接続の促進を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
下水道の水洗化率	%	下水道接続人口(下水道を利用している人数)／下水道処理人口(下水道を利用できる人数)	90.6	95	96	97

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
90.5	92	91.2	91.2	99.1%	96.0%	上下水道部 下水道課

③ 持続的な下水道機能の確保

下水道施設の計画的な点検や排水に対する水質指導により、持続的な下水道機能の確保を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③ー1	下水道維持管理事業	マンホールポンプ施設の計画的な保守点検や、下水排水基準に適合しない汚水を排出する事業所への指導を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
法定水質基準遵守率	%	法律に基づく水質試験の基準を遵守した流域接続点の箇所数／市内の流域接続点の箇所数	100	100	100	100

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
100	100	50	100	100.0%	100.0%	上下水道部 下水道課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性				担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入			
				必要性 有効性 効率性	成果の方向性 コストの方向性				
①ー1	公共下水道管渠整備事業	【実績】 ・予定していた地区において下水道整備を実施し下水道人口普及率を増加させたが、事業の遅れにより目標値に届いていない。 【課題】 ・穴虫・五位堂・逢坂地区において整備が完了しておらず、事業の繰越しを予定している。	B	90 100 100	現状維持 現状維持 現状維持	・管渠整備事業においては、整備要望の機運が高く、人口密集地域を中心に整備を実施することで、普及率の向上を目指す。	上下水道部 下水道課		
②ー1	水洗化促進事業	【実績】 ・下水道の接続件数において、前年度と同等程度の成果となった。 【課題】 ・普及拡大を重点的に行っている中、水洗化率については横ばい状態である。	A	90 95 100	現状維持 現状維持 現状維持	・普及啓発による水洗化率の更なる向上が、水質の改善、下水道使用料の増加に寄与することから、普及促進員による活動を継続して実施する。	上下水道部 下水道課		
③ー1	下水道維持管理事業	【実績】 ・法定水質基準が遵守できている。 【課題】 ・法定水質基準を満たしているが、一部水質の悪い(特定排水に係る水質使用料の区分に該当する数値)箇所がある。	A	90 80 85	現状維持 現状維持 現状維持	・引き続き接続点での水質検査を実施し、法定水質基準を遵守した水質維持について努める。	上下水道部 下水道課		



■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・要望地域や人口密集地域を中心に、各自治会と協議を交え機運の高さを確認して、整備促進を図っていく。 ・未接続世帯訪問時に行ったアンケートの調査結果等を分析し啓発の時期や地区を絞って啓発活動を行う。 ・水質の悪い箇所については、定期的に啓発を行っていく。
---------	--

担当課評価	
A	2 事業
B	1 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業